



No.105 2012・9・25

ISHIKAWA-KEN HISTORY MUSEUM
発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963 金沢市出羽町3番1号
TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836
http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/



ISHIKAWA-KEN
HISTORY
MUSEUM

れ
き
は
く

兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク2012

特別
企画展

発見！ 地域お宝自慢



色絵鳳凰図手炉(吉田屋窯) 江戸 19世紀 石川県九谷焼美術館所蔵

再興九谷の名窯、吉田屋窯(1824~31)の手炉である。
冬季に手などを暖めるためのいわゆる火鉢で、蓋と身に分かれ、胴に手慣れた筆致で華麗に鳳凰を意匠する優品である。

- ◇会 期 10月1日(月)～21日(日)
会期中無休
- ◇主 催 兼六園周辺文化の森
活性化推進実行委員会
- ◇会 場 特別展示室
- ◇開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- ◇観 覧 料 無料
※当館常設展示室をあわせて
ご覧になる場合は入館料が必要

◆関連イベント

ギャラリートーク(無料)

日 時 10月8日(月・祝)
午前10時30分～(1時間程度)

会 場 特別展示室

担 当 当館学芸員

※事前申込不要

兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク企画展 発見！ 地域お宝自慢

兼六園周辺文化の森活性化推進実行委員会（事務局・石川県文化振興課内）では、兼六園周辺の文化施設が連携して賑わい創出を図るため、平成十八年から毎年十月に「兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク」を開催しています。今年は十月一日から八日までの八日間で、展覧会や伝統芸能の公演、講演会、クラシックコンサートなど、多彩な催しを行います。

その一環として、今年は県立歴史博物館にご協力いただき、企画展「発見！ 地域お宝自慢」を開催いたします。石川県には能登から加賀まで、特色豊かな美術館・博物館等が多数あり、独自の歴史・文化を発信しています。そこで今回、各地域に根付く石川の多彩な文化を広く皆様に知っていただきたく、各館の「お宝」というべき各地の歴史と文化を物語る幅広い品々を一堂に集めて公開しますので、ぜひご鑑賞いただきたいと思えます。

古代の遺跡出土品をはじめ、本県を代表する伝統工芸「輪島塗」「九谷焼」の名品、本県ゆかりの方々の素晴らしい作品など、時代も分野もバラエティーに富んだ三十余点を展示。いずれもご出品に協力いただいた各館の個性が伝わる名品ぞろいです。特に、「日本最古のおにぎり?!」と話題を呼んだ、

中能登町の杉谷チャノバタケ遺跡出土品「チマキ状炭化米塊」は、普段はなかなかお目にかかれないものなので、この機会をどうぞお見逃しなく！
今回ご紹介する作品や資料は、各館のほんの一部であり、この機会に各地域の持つ新たな魅力を発見して、ぜひ県内各地の美術館・博物館等を訪れて、石川の歴史・文化の奥深さを体感していただければ幸いです。
（兼六園周辺文化の森活性化推進実行委員会）

「ミュージアムウィーク本多の森公園での催し」

◇本多の森せせらぎ公演

- 十月七日（日） ①十二時二十分／ ②十五時二十分／
 - 十月八日（月・祝） ①十二時二十分／ ②十四時三十分／
- 県内各地の民俗芸能が屋外ステージに登場！

◇文化の森カフェ

- 十月六日（土）、七日（日）、八日（月・祝） 各日十一時～十六時
- 週末限定オープンカフェで、くつろぎのひとときをお過ごしください。

◇ミニ・コンサート（全二回・各回約二十分・無料）

- 十月二日（火） ①十一時三十分／ 会場：歴史博物館
 - ②十三時／ 会場：石川県立伝統産業工芸館
- 出演者：上田智子（ハープ）



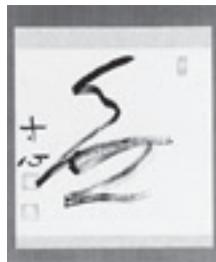
昔話沈金九つ組杯・杯台（小西茂助作）
石川県輪島漆芸美術館所蔵



深鉢形土器 御経塚遺跡出土
国指定重要文化財
野々市市ふるさと歴史館所蔵



色絵山水亀図馬盃形水盃（九谷庄三作）
能美市九谷焼資料館所蔵



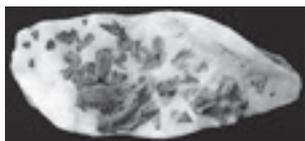
遺墨 軸「無」（西田幾多郎書）
かほく市指定文化財
石川県西田幾多郎記念哲学館所蔵



加賀郡勝示札（複製品）
石川県埋蔵文化財センター所蔵



志野草花文向附（池田コレクション）
石川県七尾美術館所蔵



恐竜化石（複製品）
アルパロフォサウルス・ヤマグチオロウム
白山市白峰化石調査センター所蔵



杜の幻想（原峯水作）
白山市立松任博物館 所蔵



白木の軍配
羽咋市歴史民俗資料館



藍胎漆器 中屋サワ遺跡出土
金沢市指定文化財
金沢市埋蔵文化財センター所蔵



砂張銅鑼（初代魚住為楽作）
小松市指定文化財
小松市立博物館所蔵

兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク2012 企画展「発見！地域お宝自慢」出品資料・作品

所蔵施設	種類	作品・資料名
石川県輪島漆芸美術館	工芸品(輪島塗)	昔話沈金九つ組杯・杯台(小西茂助 作)
//	工芸品(輪島塗)	瑞鳥蒔絵菓子器(飯田善七 作)
石川県七尾美術館	工芸品(美濃焼)	志野草花文向附(池田コレクション)
//	工芸品(美濃焼)	織部暦手文向附(池田コレクション)
羽咋市歴史民俗資料館	歴史資料	明治時代の唐戸山相撲風景写真
//	歴史資料	明治12年 唐戸山相撲大関掲額
//	歴史資料	大関に渡される御大詔(証書)
//	歴史資料	白木の軍配
//	古文書	安政3年 唐戸山相撲類似の力競の禁令(「羽咋十村・加藤家文書」の「安政日記 下」より)
石川県西田幾多郎記念哲学館	書	遺墨 軸「無」(西田幾多郎 書) かほく市指定文化財
//	書	遺墨 軸「秋色従西来蒼然満関中五陵北原上萬古青濛々」(西田幾多郎 書) かほく市指定文化財
石川県埋蔵文化財センター	考古資料	チマキ状炭化米塊 (中能登町杉谷チャノバタケ遺跡出土)
//	古文書	加賀郡勝示札(複製品及び復元品) (津幡町加茂遺跡出土)
金沢市埋蔵文化財センター	考古資料(漆製品)	籃胎漆器 中屋サワ遺跡出土 金沢市指定文化財
//	考古資料(漆製品)	飾り弓 中屋サワ遺跡出土 金沢市指定文化財
//	考古資料(木製品)	樹皮細工品 中屋サワ遺跡出土 金沢市指定文化財
野々市市ふるさと歴史館	考古資料(土器)	深鉢形土器 御経塚遺跡出土 国指定重要文化財
//	考古資料(土器)	深鉢形土器 御経塚遺跡出土 国指定重要文化財
白山市立松任博物館	工芸品(染色)	月と陰(原峯水 作)
//	工芸品(染色)	杜の幻想(原峯水 作)
白山市白峰化石調査センター	自然史資料(化石)	恐竜化石(複製品) アルバロフォサウルス・ヤマグチオロウム
//	自然史資料(化石)	恐竜化石(複製品) 加賀竜 第2標本
能美市九谷焼資料館	工芸品(九谷焼)	色絵藤に鶏図花生(沢田南久 作)
//	工芸品(九谷焼)	花器 磁象暁の松(浅蔵五十吉 作)
//	工芸品(九谷焼)	色絵山水亀図馬鬣形水盤(九谷庄三 作)
小松市立博物館	考古資料(加賀古陶)	加賀花押文壺 軽海墳墓出土 小松市指定文化財
//	自然史資料(化石)	Tetoria endoi Kimura & Sekido (中生代植物化石)
//	工芸品(金工)	砂張銅鑼(初代魚住為楽 作) 小松市指定文化財
//	絵画(日本画)	唐子琴棋書画遊芸絵襖
石川県九谷焼美術館	工芸品(九谷焼)	色絵花鳥図平鉢(古九谷)
//	工芸品(九谷焼)	色絵鳳凰図手炉(吉田屋窯)
//	工芸品(九谷焼)	赤絵金彩瓢形花入(塚谷竹軒 作)
//	古文書	苳憩紀聞

リニューアルオープンに向けて

利用者の減少は、現場の私たちにとって深刻な問題です。それは、開館以来すでに二十六年の歳月が経ち、色あせた展示や設備機器の老朽化といった問題もさることながら、歴博の新しい利用ヴィジョンが問われているからです。

そこで、石川県では北陸新幹線の金沢開業をみすえた二〇一四年度に歴史博物館のリニューアルオープンを目指すことになりました。昨年度、その基本設計がまとめられたのでリニューアルポイントを簡単に紹介しておきましょう。

その第一は、各棟に分散していた展示室を第一棟に集約し、利用者の便を図ることにしました。その一階では、これまでの総花的な展示手法を改め、加賀・能登が光り輝いていた時代や特色ある重要テーマをジオラマや映像を使ってシンボリックに展示したいと考えています。最古のお触れ書きとして話題となった加賀郡勝示札^{かかぐんしょうじふだ}が伝える地域社会、真宗門徒が原動力となった加賀一向一揆、大藩の威光をうかがわせる加賀藩大名行列、さらには躍動感あふれる祭礼など、石川の人々の活力に満ちた歴史を楽しく体感できるようにしたいと思います。

第一棟二階では、企画展示室と特別展示室を設けます。企画展示室は、歴博が誇る優品やコレクションを定期的に更新しながら展示するとともに、特別展示室や貸館としても活用できます。企画展示室を

特別展示室として活用した場合、特別展示室の総面積は、これまでの約一・四倍の広さになり、魅力的な大規模展覧会の誘致が可能となります。

リニューアル第二のポイントは、第二棟に無料ゾーンを設けたことです。ここでは、石川の歴史・文化の魅力を紹介するコーナーやミュージアムグッズの販売、甲冑などを着用できる体験コーナー、各種イベントが可能な多目的ホールやギャラリーの整備など、利用者相互や博物館とのコミュニケーション機能を高めることにしました。

また、無料ゾーンでは気楽に立ち寄れるように複数の出入口を設ける予定です。さらに、中庭にはガラス張りの「ほっとサロン（仮称）」を設け、四季の移ろいを感じながら博物館でくつろぐことのできる憩い空間を充実することにしました。

第三のポイントは、バリアフリー対策です。第一棟の展示棟では、利用者エレベーターと多目的トイレを新設します。また案内標示の多言語化も行います。重要文化財であるレンガ建物を保全しながら、出来る限り人にやさしい博物館を目指します。

現在、リニューアル事業は実施設計の段階にあります。職員一同、これまで以上に、親しまれる博物館を目指して小さな努力と創意工夫を重ねていきたいと思っております。

(学芸主幹 戸潤幹夫)

主な刊行物のご案内

- | | | |
|-------------------------------------|--------|--------|
| 石川県立歴史博物館展示案内 | (税込定価) | 一、〇〇〇円 |
| 石川県立歴史博物館蔵品目録 | | 一、八〇〇円 |
| 加賀百万石への道 — 戦国から太平へ — | | 二〇〇円 |
| 昭和ワンダーランド — モノでたどる戦後 — | | 一、〇〇〇円 |
| 石川のお宝史 — 名宝から文化財へ — | | 三〇〇円 |
| 弥生ムラの風景 — 越のクニ生み・境界・交流 — | | 一、二〇〇円 |
| 御用絵師梅田九栄と俳諧 — 芭蕉の教えを守った男 — | | 三〇〇円 |
| 肖像画にみる加賀藩の人々 | | 一、四〇〇円 |
| ASOBE 百・華・練・乱 — 丸紅所蔵衣裳名品展 — | | 五〇〇円 |
| 春日懐紙 | | 五〇〇円 |
| 本願寺展 | | 二、三〇〇円 |
| トキ舞う空へ — 鳥と人の文化史 — | | 一、〇〇〇円 |
| 徳川將軍家と加賀藩 — 姫君たちの輝き — | | 一、〇〇〇円 |
| くらし&娯楽の大博覧会 — 昭和ストーリー 1920s~1980s — | | 九〇〇円 |
| 染の華 織の心 — 加賀・能登の技とデザイン — | | 八〇〇円 |
| れきはく所蔵の指定文化財 | | 一、〇〇〇円 |



※総合カウンターで販売中。定価はすべて税込。郵送ご希望の方は、当館へ直接お問い合わせいただくか、当館ホームページ「刊行物案内（図録等）」をご覧ください。（電話〇七六―二六二―三三三六）

初夏のバスツアー「上越紀行 北国街道の史跡をたずねて」

初夏の日差しが眩しかった六月二十六日、北国街道沿いの糸魚川、能生の寺社・史跡を訪ねながら、加賀藩の参勤交代の行程を上越高田までたどりました。



親鸞ゆかりの浄興寺、越後の歴史を語っているとも言える林泉寺、現在も酒屋を営んでいる旧糸魚川本陣に酔いしれ、能生白山神社では白山信仰に関わるものだけでなく、天然記念物にも出会うことができました。急な予定変更もありましたが、参加された三十九名の方々のご理解、ご協力で無事に終了することができました。

夏季特別展「マンダラーチベット・ネパールの仏たち」

七月十四日から五十一日間にわたった夏季特別展が終了しました。普段はあまり見ることのないチベットやネパールなどのマンダラに興味を持たれた方が多く、解説も分かり易いと非常に好評で、図録が会期中に完売してしまっただけで、また、特別展に合わせて、講師の方をお迎えして行われた二回の講演会と列品解説にも大勢の方が参加され、マンダラへの理解をより深めることができました。併設企画展の「北陸の曼荼羅」は地元ならではの味わい深く、様々な曼荼羅を楽しむことができました。



催事日録

今年も六月末から七月末にかけて、金沢市立兼六中学校(六名)、額中学校(六名)、紫錦台中学校(四名)の職業体験がありました。三日間という短い期間でしたが、中学生にとっては働くということを考える貴重な体験になったようです。体験の中で生徒たちが一番苦労したのが、各校の先輩たちがこれまで担当してきた展示コーナーを、自分たちならではのアイデアで展示し直すことで、みんなで見出しを出し合い協力しあって完成させました。先入観にとらわれない、豊かな発想にあふれた展示を是非ご覧ください。



博物館学芸員資格取得のための博物館実習が七月三十日から八月四日まで、県内外四つの大学から七名が参加し行われました。今年も当館の学芸員が講師となり、資料の取り扱いや写真撮影、収蔵庫整理、展示方法などの現場実習だけでなく、博物館に関わる法律についての講義や博物館についての意見交換なども行いました。

初めのうちは遠慮しがちだった学生たちも徐々にうち解けあい、実習の仕上げともいえる展示実習では協力しあいながら真摯に取り組み、堅実な展示に仕上がりました。

博物館学芸員資格取得のための博物館実習が七月三十日から八月四日まで、県内外四つの大学から七名が参加し行われました。今年も当館の学芸員が講師となり、資料の取り扱いや写真撮影、収蔵庫整理、展示方法などの現場実習だけでなく、博物館に関わる法律についての講義や博物館についての意見交換なども行いました。



中学生の職業体験「わく・ワーク(Work)」

学芸員をめざして～博物館学芸員実習～

お知らせ
常設展示室
近世・近代の科学技術
リニューアル準備のため、九月十二日から第三棟の第五八展示室が閉室になりました。
これに伴う代替えとして、第六展示室の「科学技術」展示を第四展示室で紹介しています。ご迷惑をお掛けしますが、引き続き、加賀藩から石川県にいたる科学技術の成果をお楽しみください。



れきはくゼミナール



常設展示ワンポイント解説

行	事	内	容
10/5(金)	常設展示ワンポイント解説	岡山義経画像について	(学芸主幹 北香千代)
10/20(土)	れきはくゼミナール	東日本大震災と、その教訓	(学芸主幹 本谷文雄)
11/2(金)	常設展示ワンポイント解説	海辺の絵馬堂	(普及課長 前田武輝)
11/17(土)	れきはくゼミナール	デザインをまとうー染織の意匠	(学芸主任 大井理恵)
12/7(金)	常設展示ワンポイント解説	幕末の加賀藩	(資料課長 濱岡伸也)
12/15(土)	れきはくゼミナール	マネキン以前ーショーウィンドウの文化史ー	(学芸専門員 大門哲)

◎開講時間：午後2時
◎会場：常設展示ワンポイント解説：各関係展示室 約三十分
れきはくゼミナール：学習ホール 約一時間半
◎受講料：常設展示ワンポイント解説：展示室内行事につき、入館料が必要
れきはくゼミナール：無料
◎申し込み：不要 ※当日受付へお申し出下さい

行事日録(10～12月)

れきはく
トリヴィア

幻の飴

今年はアメリカが半世紀ぶりの大旱魃にみまわれているようですが、昔から天候の具合などによって引き起こされる飢饉に悩まされてきた人々は、その対策に様々な知恵を絞ってきました。

当館展示室でも、こうした先人たちの苦勞の一端がうかがわれるものを紹介しています。それは第三展示室の白山麓民家の天井から吊り下がっている「ヨウガイマイ」です。この民家を開設（昭和六十年）するにあたっては、民具資料収集家の伊藤常次郎氏（故人）のご協力をいただいております。細部に至るまで様々な目配りがされています。この「ヨウガイマイ」もその一つで、伊藤氏の出身である小松市旧丸村小原集落でのものをもとに、忠実に再現していただきました。



ヨウガイマイ（第三展示室・右上隅）

マシ（シコクビエ）を、粉殻を付けたまま俵やかます吠など詰めて、土蔵で蓄えました。土蔵のない家では、囲炉裏の煙が通るところに吊り下げました。煙で虫害を、吊り下げでネズミの害を防いでいたのです。カマシはよく乾燥させておけば十年、二十年を経ても変質せず、味も落ちなかったとのこと。そこで毎年食べ残したカマシを吠に少しずつ追加していつて、たくさん蓄えていたのです。



ヨウガイマイ（第三展示室）

でも凶作さえなければ毎年増えていったこのカマシ、いつばいになつたらどうしたのか。伊藤氏によれば、底の方の相当古くなつたカマシの実から、順番に飴にして食べたそうです。きな粉を混ぜて、小さく切つて作つた飴菓子は評判がよく、他の村落からも注文がくるほどだったとか。どんな風味のものだったのか、興味あるところですが、昭和三十四年大日川ダム建設で集落は水没し、その技術も伝えられることなく、幻の飴となつてしまいました。残念…。

※トリヴィアII 雑学的な事柄や知識、豆知識

広告



金融から見た地域の歴史を展示
金沢金融歴史資料館

（北陸銀行金沢支店内 / 平日9時～15時・入場無料）

明治10年8月26日 加賀藩 前田家の出資により創業

www.hokugin.co.jp

北陸銀行

展示替え等による休館日（10～12月）

10月～11月 休館日なし
12月27日（木）～31日（月） 5日間

本多の森から

夏季特別展「マンガラ―チベット・ネパールの仏たち―」は盛況のうちに会期を終えました。講演会や列品解説には多くの方に参加いただき、また併設企画展として開催した「北陸の曼荼羅」も好評でした。通常、特別展会期中にはアンケート調査を実施していますが、今回は回答数が多かつただけでなく、自由記述欄にも様々な感想を寄せていただき、マンガラへの関心の高さがうかがえます。これよりリニューアル前の特別展は終了しましたが、年度内には「兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク」などのイベントや、館蔵品中心の企画展が予定されています。引き続き多くの方に足を運んでいただければ幸いです。